

科目名	ダイバーシティ心理学		Subject	Diversity Psychology				
サブタイトル	調べ学習を通してさまざまな価値観を知り、「多様性とは何か」について理解を深めていく。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	2 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回			○		○	◎		
教員名	中山 隼登			メールアドレス	hayato.nakayama@・・・			
教員の略歴	2020 年 立正大学心理学研究科応用心理学専攻 修士課程 修了 2022 年 帝京大学教育学部 教育心理学実験 非常勤助手 2022 年 白梅学園大学 非常勤講師 情報処理科目担当 2024 年 桜美林大学 非常勤講師 統計科目担当 2024 年 都留文科大学 非常勤講師 社会調査士資格関連科目担当							
実践的教育	×							
オフィスアワー	授業の前後 3 0 分に直接声をかけてください。							

科目の概要								
ダイバーシティとは、一人ひとりが持つ特徴の「多様性」のことです。 本科目では、さまざまな価値観を知ること、自己の個性と他者の個性を尊重できることを目指して展開していきます。 性別、国籍、人権、民族、出自、宗教、LGBT などの性的嗜好/性自認、年齢、障がいなど ダイバーシティに関するテーマを選び、調べ学習、グループワークを行い、全員を対象とした発表会（プレゼンテーション）を行います。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	○	○	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP4	自己の個性と他者の個性を同等に尊重できる。							
DP1	異文化理解・異文化コミュニケーションの基礎知識を身につけ、その知識を日常生活で活用するとともに、多様性に関わるさまざまな課題の解決にあたることができる。							
DP3	本から情報を得て、スライドにまとめ、全員の前で発表することができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	なし							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	30%	-	-	50%	-	20%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
小課題については次回授業時に総括コメントを返します。								
履修上の条件・注意								
授業資料の配布や連絡は classroom を通じて行う。 授業には Google スライドが問題なく編集できる端末を持参すること（必須条件）。 グループワークでは積極的に発言し、コミュニケーションを円滑に行うこと。 授業・グループワークの進行の妨げとなるような行為が発覚した際には退出を命ずる。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	ガイダンス	本講義の目的を理解し、述べることができる。	多様性に関する調べごと。予習として図書館で本を探す。（240 分）	240 分
第 2 回	ダイバーシティの概念について学ぶ	ダイバーシティの概念について述べることができる。自らのテーマについて、選択した理由を明確に説明することができる。	予習：ダイバーシティ（多様性）についてインターネットや図書館の本などで調べ、最終発表会のスライドの作成を進める。（180 分） 復習：授業に関する小課題を提出する。（60 分）	240 分
第 3 回	調べ学習の手順と手法について学ぶ	調べ学習の手順と手法について述べることができる。自らのテーマについて調べる範囲を明確にできる。	予習：選択したダイバーシティ（多様性）についてインターネットや図書館の本などで調べ、最終発表会のスライドの作成を進める。（180 分） 復習：授業に関する小課題を提出する。（60 分）	240 分
第 4 回	発表の方法とポイントについて学ぶ	中間発表会、最終発表会の概要について述べるができる。各発表会の流れを具体的にイメージすることができる。	予習：発表の方法とポイントについてインターネットや図書館の本などで調べ、最終発表会の準備を進める。（180 分） 復習：授業に関する小課題を提出する。（60 分）	240 分
第 5 回	ダイバーシティの必要性を学ぶ	ダイバーシティの必要性について述べるができる。自らのテーマの問題点について列挙することができる。	予習：選択したテーマにおける社会的な検討の必要性についてインターネットや図書館の本などで調べ、最終発表会の準備を進める。（180 分） 復習：授業に関する小課題を提出する。（60 分）	240 分
第 6 回	グループワークの進め方とディスカッションのマナーについて学ぶ	グループワークの進め方とディスカッションのマナーについて述べるができる。	予習：ディスカッションのマナーについて調べ、意見をまとめておく。最終発表会の準備を進める。（180 分） 復習：授業に関する小課題を提出する。（60 分）	240 分
第 7 回	グループワークから学ぶ	グループワークを行う。ダイバーシティに対する自身の多角的な物の見え方を述べることができる。	予習：選択したダイバーシティ（多様性）について意見をまとめる。最終発表会のスライドの作成を進める。（180 分） 復習：授業に関する小課題を提出する。（60 分）	240 分
第 8 回	第一回目中間発表会	取り組んだ内容をまとめ、発表することができる。最終発表会に向けて残りの期間でやるべきことを明確にする。	予習：中間発表会のスライドを作成し、予行演習を行う。（180 分） 復習：授業に関する小課題を提出する。（60 分）	240 分
第 9 回	第二回目中間発表会	取り組んだ内容をまとめ、発表することができる。最終発表会に向けて残りの期間でやるべきことを明確にする。	予習：中間発表会のスライドを作成し、予行演習を行う。（180 分） 復習：授業に関する小課題を提出する。（60 分）	240 分
第 10 回	グループワークから学ぶ	中間発表の内容をもとに、グループワークを行う。ダイバーシティに対する自身の多角的な物の見え方を述べるができる。	予習：中間発表会の内容について意見をまとめる。最終発表会のスライドの作成を進める。（180 分） 復習：授業に関する小課題を提出する。（60 分）	240 分
第 11 回	予行演習から学ぶ	少人数のグループで予行演習を行い、最終発表会へ向けた改善点について述べるができる。	予習：最終発表会のスライドを作成し、予行演習を行う。	240 分
第 12 回	第一回目最終発表会	取り組んだ内容をまとめ、発表することができる。他学生の発表内容からダイバーシティについて自分の意見を肯定的に述べることができる。	予習：最終発表会のスライドを作成し、予行演習を行う。	240 分
第 13 回	第二回目最終発表会	取り組んだ内容をまとめ、発表することができる。他学生の発表内容からダイバーシティについて自分の意見を肯定的に述べることができる。	他学生の発表内容についてさらに調べ、グループワークに向けて意見をまとめる。他者からのフィードバックを元に個人の意見の見直しと再度調べ学習をする。	240 分
第 14 回	第三回目最終発表会	取り組んだ内容をまとめ、発表することができる。他学生の発表内容からダイバーシティについて自分の意見を肯定的に述べることができる。	他学生の発表内容についてさらに調べ、グループワークに向けて意見をまとめる。他者からのフィードバックを元に個人の意見の見直しと再度調べ学習をする。	240 分
第 15 回	発表へのフィードバックと全体まとめ	振り返りを通じて、ダイバーシティに対する自身の多角的な物の見え方を述べることができる。	他学生の発表内容についてさらに調べ、小課題を提出する。他者からのフィードバックを元に個人の意見の見直しと再度調べ学習をする。	240 分